

住宅用 壁下地材 **遮音シート** 施工説明書

施工上のご注意

- 遮音シートは一般住宅及びそれに準ずる居住施設の屋内用です。
- 浴室内部や屋外などの水分と頻繁に接する箇所への施工は結露の原因となりますのでおやめ下さい。
- 下地材や建物の構造・種類によって施工方法や得られる効果は異なります。
- 遮音シートは重量物です。運搬及び取り扱いには充分注意して下さい。

施工手順

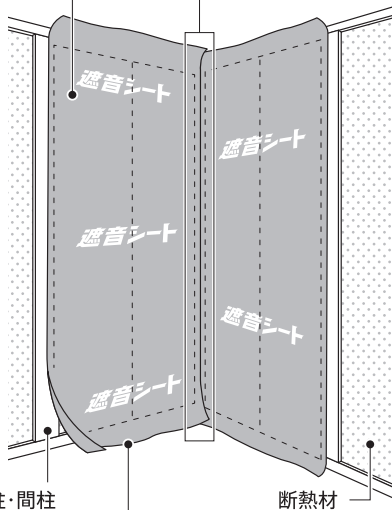
TS-12(1.2mm厚)の場合

- 1 壁のみの施工の場合は床・天井面に遮音シートを隙間なく施工できるサイズにして下さい。
- 2 上記を考慮し採寸を行い、裁ちばさみやカッターなどで裁断して下さい。
- 3 遮音シート(不織布面が手前)をタッカーにて約100～150mmピッチで固定します。
固定の際は必ず柱・間柱等の下地のある場所で行い、シートの重ね代は30mm以上確保して下さい。
- 4 出隅・入隅などは隙間が出来ないように重ね代を設けて下さい。
- 5 ドア廻りや窓枠廻りでは開口部にまわし込み、タッカーで固定して下さい。
- 6 遮音シートは胴縁で押さえ込み、たるみや隙間のないように密着させて下さい。
- 7 胴縁施工後に石膏ボードを施工して下さい。
天井面にジョイナーを付けて石膏ボードを貼付するときれいな仕上がりになります。



施工動画

遮音シート 重ね代は30mm以上

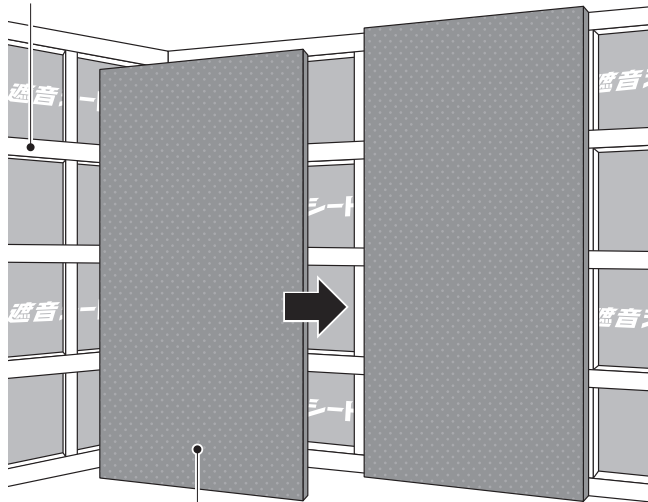


柱・間柱

断熱材

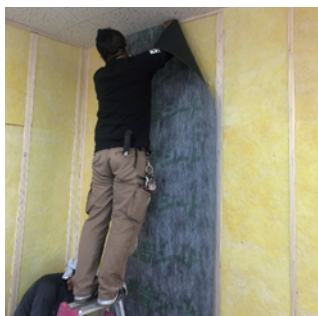
床・天井面は50mm程度のまわし込みのできる寸法を推奨。

胴縁



石膏ボード

施工写真 ※詳しくは施工動画を参照して下さい。



シートを貼りだす



壁全面に貼付



胴縁施工



石膏ボードを貼付

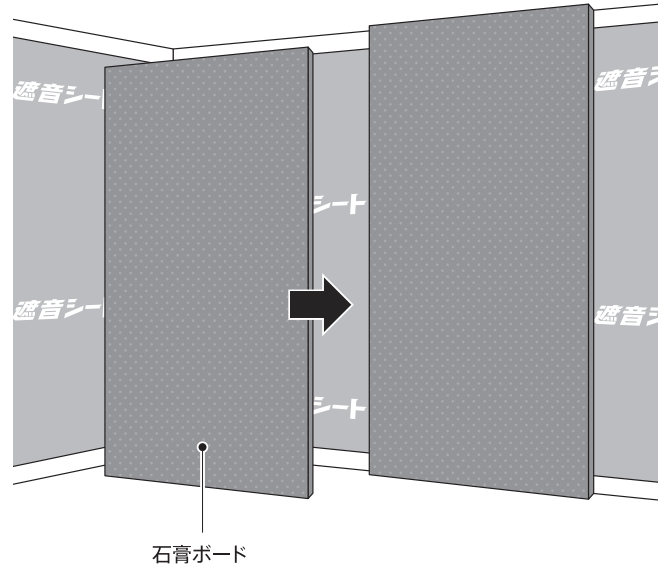
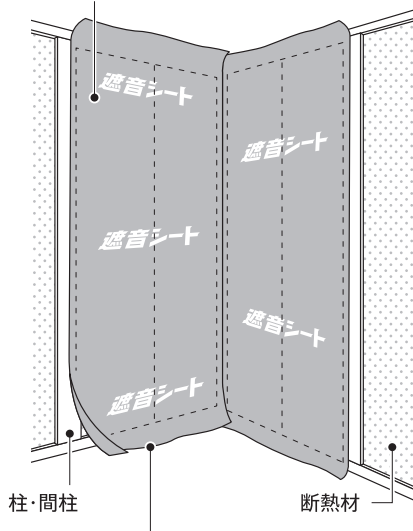
TS-20(2.0mm厚)の場合

- 1 壁のみの施工の場合は床・天井面に遮音シートを隙間なく施工できるサイズにしてください。
- 2 上記を考慮し採寸を行い、裁ちばさみやカッターなどで裁断して下さい。
- 3 遮音シート(不織布面が手前)をタッカーにて約100～150mmピッチで固定します。
固定の際は必ず柱・間柱等の下地のある場所で行って下さい。
隣り合わせのシート同士を突き付けて貼り合わせ、
その上から遮音ジョイントを重ねてタッカーにて貼付して下さい。
- 4 出隅・入隅などは隙間が出来ないように、
上記同様に重ね代を設けず突き付けて、その上から遮音ジョイントを貼付して下さい。
- 5 ドア廻りや窓枠廻りでは開口部にまわし込み、タッカーで固定して下さい。
- 6 遮音シート施工後、石膏ボードを施工して下さい。
天井面にジョイナーを付けて石膏ボードを貼付するときれいな仕上がりになります。



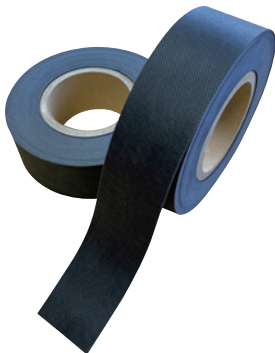
施工動画

遮音シート



推奨 商品名:遮音ジョイント 品番:TSJ-1250

使い方: 2.0mm遮音シート同士の境目や取り合い部などのすき間からの音漏れ防止にご利用下さい。



商品仕様

基材・表面:
高比重物質配合軟質塩ビ樹脂シート
(片面黒不織布貼り)

サイズ:
厚さ1.2mm×幅50mm×長さ10m巻き

梱包・入数:
2本入り/ケース

施工写真

※詳しくは施工動画を参照して下さい。

